

沖縄県竹富町 ～土地の買戻しによる遊休農地解消～

地域指定	過疎
農業地域類型	山間農業地域
経営耕地面積	1,400ha
耕作放棄地面積	農家55ha 土地持ち非農家22ha 計77ha

数値は2005年農林業センサ概数値

【地域の概要】

本町は日本列島最南端に位置する八重山諸島にあり、東西約42km、南北約40kmの広範囲に位置する16の島々からなる島しょの町である。その島々の1つである黒島は周囲13km、海拔8mの隆起珊瑚礁で出来た平坦な島である。土壌は土層が浅い地帯であるため保水力が低く、これまで換金作物としてサトウキビ、葉たばこ等の栽培に取り組んできたが干ばつと台風被害、さらには連作障害に見舞われ、島の経済は衰退していった。

畑作には向かない土地を最大限に生かし、かつ省力的である和牛生産へ転換することにより、「牛の島」として島の経済は安定していった。

【耕作放棄地解消に向けた取組の経緯】

「全国に通用する牛を作る」を目標に生産拡大と品質向上を進める中で、デベロッパー所有の未利用地への対応が問題となった。

本土復帰直後、リゾート開発を目的に本土のデベロッパーが島の多くの土地を買収したが、リゾート開発は順調に進まず、その土地の多くは原野となっていた。

島の利用可能な多くの土地が利用されていない現状に、畜産生産の拡大を図る観点から、島民は土地の利用を望んだ。

耕作放棄地解消に向けた取組（農地保有合理化法人）

耕作放棄地解消面積：69ヘクタール 取組時期：平成14年度～

個々の農家が本土のデベロッパーから個別に土地を買収することは困難であった。そのような中、農地保有合理化法人（沖縄県農業開発公社）が農地を取得し、この農地を基盤整備した上で農家へ売渡するスキームが検討された。

現在、農地保有合理化法人がデベロッパーから土地を買い取り、竹富町の他の島も含めて進められている畜産基盤再生総合整備事業「ばいぬしま第二地区」により平成15年度から事業がすすめられている（平成18年に完了予定）。



着手前



着手後